

## ◇きのこプロジェクト（きのこP）とは

新得町と町内のダムを管理するダム事業者が協力し、町の名産のひとつである「原木しいたけ」と「ダム」をキーワードに、新得町と原木しいたけの知名度を一層上げることが目的とした取組。

各ダム事業者（帯広開発建設部、十勝総合振興局、北海道電力（株）、電源開発（株））は、ダム施設で栽培している原木しいたけの出来映えを9月に開催された「しんとく新そば祭り」で競い合いました。

11月某日、チームで集会し、これまでの取組を振り返ると共に、これからの取組について話し合いました。

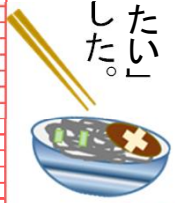
「来年も、そば祭りに出展したい」という気持ちを確認し合いました。

活動の中で一番大きく華やかなイベントは、9月に参加した「しんとく新そば祭り」でした。きのこPのブースには、びっくりする位のたくさんの方が足を運んでくださり、想定以上の盛り上がりでした。

当プロジェクトを通じた一般の方との対面交流は初めてでしたが、企画の感想を言ってくれる方や質問してくれる方が多くいて、関心を持ってくれたことが伝わり嬉しく思いました。

実は、そば祭りの前後にテレビ、ラジオ、新聞で「きのこP」の活動を紹介していただきました。メディア露出の反響は大きく、「活動を知ってもらおう」「関心を持ってもらう」という点では、じわじわと手応えを感じ始めています。

11月某日、チームで集会し、これまでの取組を振り返ると共に、これからの取組について話し合いました。



そば祭りの  
出展効果？

## じわじわ広がる… きのこP活動の認知度

・X(旧ツイッター)のそば祭り予告の閲覧数が現時点で今年の最大数に！

また、結果報告の閲覧数も多かった。

・「いいね」の数も多かった。

・新聞に掲載された「ダム対抗きのこコンテスト」の優勝者の写真を見た新得町民の方から、好意的な感想を言ってもらえた。

・同じ建物で働く方が「そば祭りのテレビ(新聞)を見たよ」と声をかけてくれた。

・TVを見た方が「来年はお祭りに行きたい。来年もコンテストをやって欲しい」と言ってくれた。

活動から1年、そば祭りに出展させていただいたこともあって、きのこPの活動が認知され始めた“気配”をじわじわ感じています。“気配”を少しだけご紹介します。

・ダム対抗きのこコンテストの優勝の賞状や記念品を見た方が、コンテストや賞名の「菌(金)賞」に関心を示してくれ、話題が広がった。

・テレビを見た方が「新得町は原木しいたけが特産なんだね」と声を掛けてくれた(知ってくれた)。

・ダム見学に来てくれたダムファンの方が、「ダム対抗きのこコンテスト」のことを知っていた。

・そば祭りに来てくれた方が、ダムカードを取りに来てくれた。

小さな気配ですが、チームの励みになっています



↑新そば祭りで勝手にデビューした「しんとく原木レンジャー」(非公認)

## 11月のダムしいたけ



各ダムの栽培状況です。

どのダムも大発生とはならず、秋の収穫祭を夢見たまま、冬に突入します。。。

- ◇富村ダム…発生なし（原木に振動を与え刺激した）
- ◇十勝ダム…1つ発生（原木を優しく叩き刺激した）
- ◇岩松ダム…発生なし（原木に振動を与え刺激した）
- ◇佐幌ダム…発生なし（経過観察中）
- ◇屈足ダム…1つ発生（経過観察中）

## 「きのこプロジェクト」始動から1年

きのこプロジェクトが始動し、1年が経ちました。

これまで、原木しいたけの栽培方法や地域活性についての勉強会を開催したり、実際にダム施設で原木しいたけ栽培にチャレンジしたり…地味な活動が多かったです。

活動の中で一番大きく華やかなイベントは、9月に参加した「しんとく新そば祭り」でした。きのこPのブースには、びっくりする位のたくさんの方が足を運んでくださり、想定以上の盛り上がりでした。

当プロジェクトを通じた一般の方との対面交流は初めてでしたが、企画の感想を言ってくれる方や質問してくれる方が多くいて、関心を持ってくれたことが伝わり嬉しく思いました。



第7号

発行: 2025年12月  
帯広開発建設部  
地域連携課

「きのこP通信」はきのこプロジェクトチームの活動を発信するものです。



←きのこP通信は、HPに掲載中です

# (十勝ダム) 発育記録

## ～いたずら実験編～



上向きにしいたけが生えている原木を…



ひっくり返し、しいたけを下向きにしてみました。



7日後、傘は上を向いている！



さらに9日後、完全に上向きに。“軸”には、くっきりと軌道修正の痕跡が！

ちょっとしたいたずら心で、上向きに生えていたしいたけを原木ごとひっくり返し、下向きに変えてみました。その結果、数日で上向きに戻りました。

結果は予想通り…でした(^) **が**

光合成をする植物は、光を求めて上に成長するとして、光合成をしないしいたけは何を求めて上に成長するのでしょうか。

ポイントは傘の裏です！！

しいたけは傘の裏に胞子があり、それが落ちたり、風で飛び散ったりすることなどで繁殖します。

上を向いて…というよりも、胞子が飛散しやすいように傘の裏が下を向くように成長しているようです。

ちゃんと重力を感知しているんですね。驚きです。

一方、焼いて食べる場合には、傘の裏側にあるうまみ成分(グルタミン酸)が加熱により増加するため、傘の裏を上にして、うまみ成分を流さないように焼くと良いようです。

また、保存する時も、傘の裏を上にするのが正解です。傘の裏を下にすると胞子が落ちて、劣化を早めてしまうそうです。

**常識？！**

「きのこ(類)」の傘の裏には重要な情報が多く詰まっています。種類を見分けたり、幼・成・老といった成長の段階もわかるそうです。

日頃注目されない「裏」に光を当ててみました。☀

十勝総合振興局が「原木しいたけ」栽培をしている佐幌ダムを紹介します  
※栽培は、監査廊で行っています。

## 佐幌ダム



佐幌ダムは、北海道初「治水専用ダム」として建設されました。平成28年8月の台風により甚大な被害が発生したことから、洪水調整機能を増強し洪水被害の軽減を目的として、既設ダム本体をかさ上げる再生事業を行っています。

ダム湖周辺は、豊かな自然環境を活かした水と緑のオープンスペースとして親しまれています。

以下は、施設の内容です

位置	新得町字新内
河川名	十勝川水系佐幌川
型式	重量式コンクリートダム
ゲート	自然調整(ゲートレス)
堤高	46.6メートル
堤頂長	255メートル
堤体積	199,300立方メートル
総貯水容量	1,040万立方メートル
着工/完成	1973年/1984年
発電(管理用)	最大出力320キロワット
管理者	北海道十勝総合振興局帯広建設管理部

## 編集後記

なんと！全国放送のテレビで、きのこPの活動を放送していただきました。それを見た北海道外に住む学生時代の友人達から、「こんなに楽しい取り組みができる職場っていいね！」、「楽しそうに働いているね♪」とメッセージが届きました。色々感想も言ってくれて、なんだか褒められた気分…気持ちよく年越し出来そうです(^)v 皆様も良いお年をお迎えください。

担当者T



## ここがスゴイよ！ “佐幌ダム”

○エネルギーの有効活用やダム管理費の節減を図るため、北海道が建設したダムで**初めてダム管理用小水力発電を導入**しています。管理用電力として発電し、余剰電力は一般電力として売電しています。

○全国に46、北海道には2つしかない国土交通省が指定する「**地域に開かれたダム※**」のひとつです。

※ダム湖の利活用をさらに推進し、地域の活性化を図るため、創意工夫を生かし、地域に一層開放するダムとして国土交通省が指定するもの。